

公益財団法人高原環境財団の支援による

『全国都市緑化フェア会場周辺の子どもたちの環境学習活動に対する助成事業』

活動報告 第41回全国都市緑化かわさきフェア

名称	第41回全国都市緑化かわさきフェア
愛称	Green For All KAWASAKI 2024
事業主体	川崎市市制100周年記念事業 全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
開催期間	秋 令和6（2024）年10月19日（土）～11月17日（日） 春 令和7（2025）年3月22日（土）～4月13日（日）



【テーマ】 みどりで、つなげる。みんなが、つながる。

富士見公園会場



等々力緑地



生田緑地



プレイグリーンパークかわさき 2024

一般社団法人プレイグリーン推進協会

川崎市内の全7区＋「全国都市緑化かわさきフェア」メイン会場にて、開催期間中に児童を対象としたイベントを開催しました。会場内でウォークラリー＆クイズ形式で川崎市の文化・自然が学べる体験型の環境学習コンテンツを提供しました。また、自由に遊べる遊具に加え、地域活動団体や企業等と連携して、体験型ワークショップやマルシェ等を展開しました。参加した児童と保護者がコミュニケーションを育みながら、自然の中で体を動かし、遊び、そして学ぶ機会を創出しました。

イベント会場／参加児童数

①橘公園	226名
②等々力緑地	548名
③菅生緑地	468名
⑤生田緑地	231名
⑦等々力緑地	216名
⑧南河原公園	339名

※第4回、6回は雨天のため中止



「かわさきなるほどクイズラリー」



「ローカルSDGsラボ」



かさぶくろロケット体験コーナー

多摩川河口干潟の生き物観察と花育 だいし水辺の楽校

近隣に住む子供たちや保育園児など多くの子供たちを対象に、多摩川干潟でのハゼ釣り、干潟館に隣接する公園での種まきや花植え体験をセットにしたイベントを開催し、緑化意識及び環境保全の意識醸成を図りました。

イベント内容／参加人数

ハゼ釣り&種まき体験	大人20名 子ども21名
カゴ・リースづくり&花植え体験	大人22名 子ども10名



ハゼ釣り教室&ひまわりなどの種まき体験（開催日2024年9月21日）



クズつるでカゴやリースづくり&花植え体験(開催日2024年12月14日)

多摩川の生き物を知ろう！

NPO法人多摩川エコミュージアム

多摩川及び活動拠点である「ニヶ領せせらぎ館」にて、「多摩川の生き物を知ろう」をテーマに、野草、魚、野鳥などの分野に分け、計4回のイベントを開催しました。

魚がテーマの回ではラフティングボート体験や水中眼鏡を用いた魚の観察、野草がテーマの時は多摩川の河原の野草を使ったこすり染め、野鳥がテーマの時は双眼鏡・フィールドスコープを用いた野鳥の観察を行いました。



イベント参加者数

1回あたり約20名



ラフティングボート体験



こすり染め



野鳥観察

子供たちとの協同による
花緑や生物とふれあい環境を守る活動
高津区市民健康の森を育てる会

花緑や生物とふれあい環境を守る2つの活動を立上げ、高津区内の小学校や児童養護施設の子供たちと共に里山環境の保全を行うプロジェクト。「たちばなふれあいの森」でのホタル飛翔事業では、橘小学校2年生に向けての出前授業や幼虫の放流、ホタルの飛翔観察を行いました。また、春日台公園に花壇を作り花を育てる事業では、社会福祉法人川崎愛児園の子供たち、ベネッセ武蔵新城保育園の園児と一緒に、春日台公園内で花壇づくりを行い、貯留した雨水を使い花壇の水やりを行いました。



近隣の保育園児、小学生

ホタル飛翔事業	橘小学校2年生
花壇づくり	川崎愛児園、ベネッセ武蔵新城保育園の園児たち



ホタルの幼虫放流



花壇づくり



水やりの様子



集雨器と貯留タンク

【高原環境財団助成事業 2024-305】

まちに向日葵を咲かせたい！ ～まちなか向日葵しぼり隊の活動～

まちなか向日葵しぼり隊

生田緑地にて、ヒマワリの種まき講座やヒマワリの茎を使った紙漉き体験、搾油体験を行うプロジェクト。川崎市内の幼児・児童が参加し、川崎市立登戸小学校での搾油体験授業も行いました。

各家庭、学校でヒマワリを栽培し、育てたヒマワリを使って、紙漉き・搾油をするという流れで、「自らの手で生活に必要なものを作り出す」という体験をしました。



参加幼児・児童数

種まき	46名
紙漉き	26名
搾油	230名



種まき講座



紙漉き体験



搾油体験



竹林整備と竹灯籠で未来につなぐかわさきあかり かわさきあかり

川崎市内の親子を対象とした竹林整備活動や竹灯籠づくりを行うプロジェクト。放置竹林による竹害の解消に向けて竹林伐採に取り組むとともに、伐採した竹を有効活用しました。地域の大人や子供たちとの共同作業を通じて、多様な生物が共存できる環境の大切さを学ぶこと、毎年の整備が継続可能になる仕組みづくりを目的としました。作成した竹灯籠は、かわさき緑化フェア会場の生田緑地にて点灯イベントをおこないました。



【高原環境財団助成事業 2024-307】

こども里地里山探検隊 － 足元の自然の不思議を学ぼう－ 里山フォーラムin麻生

麻生区や周辺地域の里地・里山、公園等をフィールドに、その豊かな自然の恵みや不思議を探検・発見、経験し、子供たち自らの手と体と心で感じるプログラム。麻生区の様々な里地・里山、公園などを会場にし、学校と連携して、自然や生物の観察、のこぎりを使った工作などの体験を全4回行いました。

参加幼児・児童者数 / 保護者

延べ87名 / 延べ85名



◆第1回「ちょっとのぞいてみよう 植物や虫たちの生きる知恵」 会場：麻生市民館



◆第2回「いろんな木の実や草の実があるよ たくさん遊ぼう！」



◆第3回「来て見てさわって“黒川谷ツ公園”を知ろう！」



◆第4回「柿生の里の収穫祭 作業する・作る・恵みを味わう」

川崎市緑化フェアに協賛する環境学習イベント 水沢森人の会

川崎市営生緑地にて、緑地維持管理活動の一環として、地域の親子を対象に環境教育イベントを実施しました。「保育園等の子ども達の農作業体験」や「平瀬川いきもの調査“ガサガサ”」、「水沢の森、夏の夜の昆虫観察会」「水沢の森の星空観察会」「営生バードウォッチング」を実施し、地域の児童約100名が参加しました。



平瀬川いきもの調査



農作業体験



昆虫観察会



星空観察会



営生バードウォッチング